

成人式は八月十四日

今年の該当者は二七〇人

本年度の成人式は、八月十四日黒崎中学校体育館で行われます。昭和三十一年四月二日から三十二年四月一日までに生まれた人が該当者となります。去る、六月末日住民基本台帳より調査しましたが、ここに名前の掲載されていない人も、誤字、脱字等にお気付きの人は、公民館へ申出下さい。

なお、帰省を予定した町の成人式に出席を希望している人がありましたら、七月三十一日までに申出を。☎(7)3101 中央公民館 敬称略(内は世帯主名)

○金巻 今井利彦(利一) 大野一喜(喜代一郎) 大野嘉彰(ムメノ) 近藤幸子(重鴻) 桜井良子(作一郎) 鈴木真理子(淑子) 高橋ゆう子(幸三郎) 森田雄二(嘉夫)

○興野一區 阿部郁代(昭男) 五十嵐清(忠治) 茨木信子(政吉) 小川貞子(幸次) 白井規公(耕平) 鈴木絹枝(金二) 高井規公(信次) 高橋典子(繁) 竹内裕子(隆) 中野雄二(昭吾) 西沢明三(清作) 鈴木弘平(昭七) 興野二區

浅妻周子(靖雄) 小栗敦(昭雄) 古寺智子(幸英) 白井年明(年也) 大滝勝次(宗村六蔵) 宗村敦子(与三郎) 鷺頭静一(良彦)

○興野三區 青木かほる(寅治郎) 安藤良子(徳治) 小林道子(一清) 長北真理(啓一) 丸山 進(信松)

○興野四區 小田和栄(本人) 鈴木庸代(節) 田辺直子(正夫) 高橋重則(時男) 時田由美子(静江) 中山徹(三太郎) 長谷川弘(巖) 平山まり子(マツノ) 中学通り

鯉淵博秋(三男) 中野千恵子(秀雄)

○諏訪町 青木啓子(黄雄) 鈴木朋子(三郎) 堤己喜雄(己勇治) 中村多津子(四郎) 三井泰光(春江) 堀内宏(吉三郎)

○二之町 近藤紀美子(成男) 富岡一成(一久) 中原由紀子(貞)

○五區 小熊政雄(七) 鈴木友子(金一)

○仲町 時田純子(春雄) 横木八重子(七ツ)

○七區 渡辺 洋(政衛)

○八區 力(マル子) 和泉田ひさ子(敬夫) 大野正博(ヤス) 西方正雄(風間豊治) 長谷川敬(稔) 樋渡(誠) 木口紀子(義雄)

○新田町 山本みつゝ(種二) 近藤信男(トヨ) 若藤直子(芳男) 白井寛(タケ) 玉木 智(国作) 野口洋(栄町) 丸山笑子(金一郎)

○川原 笹川桂子(昭二) 山田悦子(隆夫) 渡辺里子(寛)

○鳥原新地 永田美智子(源松) 小林秀雄(新吉) 滝沢美智子(敬一) 徳永一則(三男) 成海美津子(行生)

○鳥原本村 青山信男(久男) 萩野信子(良範) 風間富子(富雄) 笠原敏行(二郎) 木村優子(春雄) 笹川 宏(権蔵) 白井幸二(寅一) 成海正美(傳三郎) 丸山 貢(弘之)

○鳥原大町 片野 稔(高正) 徳永富子(一政) 長谷川正(コウ) 吉田恵美子(貞夫)

○蓮方団地 柴野正史(幸吉) 田中由美子(ヨシ)

○柳作 大瀬恒毅(ハル) 小林美博(徳栄) 白川房枝(信作)

○菊地団地 菊地典子(脩) 森下由美子(和代)

○立仏 阿部修一(二郎) 浅妻 仁(武男) 石黒清子(誠一) 風間浩子(七治) 小林道子(平作) 土屋孝子(一松) 本間友子(建一) 八木高広(芳男)

○寺地本村 駒沢純子(正衛) 斎藤良子(清三郎) 斎藤春代(一男) 藤田寿子(廣土) 山口紀子(健治) 山口日出国(新一) 山口志津子(八郎)

○寺地中 金子 睦(本人) 鈴木広子(茂)

○善久東 池田美香(弘) 鈴木勇(正造)

○善久西 田辺美恵子(士郎)

○入沢信一(弘) 伊藤丈男(栄八) 田宮裕子(美金) 野崎泰子(英夫) 鷺尾トモ子(政一)

○山田上一区 間 洋子(藤蔵) 小菅健一(勇) 小林葉子(芳一) 佐々木七重(修) 和田 修(和雄)

○鳥原二區 加藤美代子(喜代松) 神保裕(秀夫) 田代美代子(敬男) 丸山敏郎(十郎) 山田知恵子(重秋) 大宅敏朗(本人) 山田昭司(本人)

丸山隆司(本人)

○山田提付 関根幸夫(本人) 野崎 好(本人)

○山田下 清水喜代子(久治) 渋谷秀子(清吉) 内藤富美枝(二八郎) 中村直子(一郎) 中村美奈子(静吾) 深沢則子(要) 若林恵子(茂)

○小平方 渡辺 勉(英夫)

○白井一喜(権平) 白井百合子(一鶴) 志賀芳弘(寅栄) 田中弥一郎(幸一郎) 高橋幸子(嘉雄) 高橋キセ(精三) 野崎久美子(二八郎) 野崎銀子(豊次) 深沢弘子(平蔵)

○鳥原新田 宗村美江子(嘉蔵)

○板井一 大矢澄江(権吉) 田辺順子(五蔵) 永井しづ子(辰男) 広瀬米子(政二)

○板井二 大久保順子(政太) 久保田幸江(五助) 種村隆幸(キヨ) 丸山仁(助六) 吉川史子(保平) 渡辺良治(春雄)

○板井四 曾山勘市(タカ) 藤由 勝(四吉) 穂刈道雄(九郎兵衛)

○木場上 大谷好章(芳次郎) 大谷 弘(和弘) 戸枝良夫(光雄) 豊田俊行(三蔵) 那須野清治(直治) 丸山正夫(秀章) 山際美佐子(善一郎) 山際正光(菊太郎) 山際昭男(平一) 山際利郎(利一) 山際 敏(元成) 山際 朗(助太郎) 横野君子(松四郎) 渡辺勝美(春吉) 渡辺孝子(勇三)

○木場下 青木美智子(政市) 一箭たかの(与七) 大谷弓子(定市) 小林清一(竹雄) 小林美晴(佐武二) 佐藤正平(和六) 佐藤信子(与三) 鶴巻芳枝(茂市) 戸枝澄夫(又三郎) 富所祥子(一彦) 机岡栄子(権五郎) 山際 厚(辰夫) 渡辺正栄(徳松)

○木場八割 青木真由美(能治) 青木美和子(初枝) 青木了二(留吉) 五十嵐弘子(繁雄) 大橋久江(キヨ) 小柳道子(繁雄) 笹川昭雄(キミ) 高橋吉司(定一) 高橋広光(重光豊田一) (一司) 永井ふよ子(四郎治) 宗村正(藤市)

○木場新田 五十嵐智子(与五郎) 五十嵐一男(五市) 五十嵐武志(仁助) 黒川政秋(トリ) 佐藤久江(義伸) 高橋明(末松) 丸山優子(兼代司) 吉田のぶ子(賢治) 渡辺まゆみ(哲夫)

○黒鳥一 大橋美枝子(清作) 本間クニ子(春三) 本間みわ子(二平太) 保莉 齊(久一郎) 保莉桂子(博)

○黒鳥二 本間 弘(栄一) 丸山哲郎(昭也)

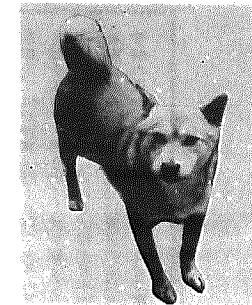
○黒鳥三 大橋浩一(定夫) 鷺尾和徳(ヒデ) 鷺尾美智子(長成) 鷺尾綾子(黒鳥四) 鷺尾雅子(吉郎)

○黒鳥四 鈴木一子(常一) 保莉ヨツ子(亥吉) 保莉秋子(市三郎) 保莉孝彦(清二) 保莉さよ子(チヨノ) 吉井達也(スイ)

○黒鳥五 本間ゆり子(長蔵) 保莉みい子(市太郎) 鷺尾勝之(治平) 鷺尾弘(治平) 鷺尾敬元(仁作) 鷺尾優子(賢治)

○緒立 鷺尾澄夫(誠二郎)

○北場 奥田美子(源次) 笠原ヨシ子(司六) 小林修子(吉平) 小林尚子(正吾) 長谷川芳男(茂) 長谷川艶子(義雄)



『ワン』ちゃんの

保護管理が厳しく規制

六月一日から国及び県では動物の愛護と危害防止を目的として、飼育方法を規定した動物保護管理条例が制定されました。この条例は従前の条例より飼い主に対し一層厳しく規定されており、要旨は次のとおりです。

一、飼い主は、動物の本能や習性をよく理解し、丈夫な鎖などで運

動させる以外に閉いの中で飼育し人の生命、身体や生活環境を損なうことのないようにしなければなりません。

二、大型犬等を飼育する時は、鉄ブロック等で囲いをしなければなりません。又、宅地内でも、人の出入口や通路に面した場所で飼育する場合は、来訪者や通行人に危害を加えないよう、入止め柵などを設けなければなりません。

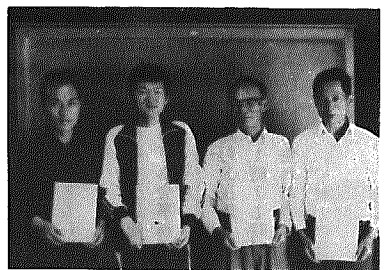
三、犬が人に危害を加えたとき、飼い主は、直ちに保健所へ届出を行うとともに、危害を加えた犬を

徴収されます。一匹につき千円。子犬や子ネコは十匹まで千円。十匹を超える場合は二千円です。その他、引取りやくわしい事は保健衛生課におたずね下さい。

TEL (7) 3101

身障者体育大会

町選手団が上位入賞



喜びの各選手左から高橋、佐藤、宮村、岡田さん

立ち巾跳び二位 高橋博男 (興野三)

走り巾跳び三位 宮村三郎 (興野一)

この栄誉を讀んで心からの拍手をおくりませう。

なお黒崎町には約四百名の身障者がいますが、身体障害者福祉協会(会長八木三三郎)に加入し、研修にスポーツにレクリエーションに多彩な行事をおこない親善と融和のもと身体障害者福祉のために努力しており、一人でも多くの入賞の加入をのぞんでいます。加入資格は身体障害者手帳の所持者で男女年齢を問いません。事務局は黒崎町社会福祉協議会内身体障害者福祉協会へ ☎(7)13101

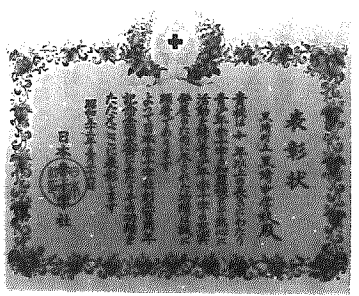
人道博愛の精神に優れ

黒中日本赤十字社から表彰

青少年赤十字に加盟十年以上の県内優秀校として、黒崎中学校が日本赤十字社から表彰を受けた。

六月二十三日、新潟県赤十字会館において、県内小・中六ヶヶ校が、日本赤十字社創立百周年を記念し、奉仕、友情、博愛の精神を基礎に生徒会活動を積極的に実践

し、その善行が認められたものです。特に同校は、青少年赤十字研究発表大会などを通し(同校会場)校内のモラルの向上につとめ、青少年赤十字のねらいである、人類愛の心「みんなが同じ人間どうし」「われ人と共にあり」という連帯感を失うことなく、自覚を高め人格の形成をより広くおし進め



た功績大として、日本赤十字社新潟県支部長君健男から表彰を受けたものです。

ツユ空の晴れ上がった六月十九日、新潟県営陸上競技場において第十五回新潟県身体障害者体育大会新潟地区大会が開催され本町出身者が大活躍をし、上位入賞を果しました。十八の競技種目を競う数百人の選手団の入場は、体幹、上肢、下肢、視覚、聴覚、音声言語機能などの障害をもつ人達が健康な人に、まさるとも劣らない堂々たる入場行進、ある人は車椅子で、ある人は松葉杖で、ある人は片腕で、しかし誰もが胸を張り明るい表情で行進する姿に、数千人の観衆は惜しみない拍手をおくっていました。

九時三十分大会々長の川上新潟市長の開会宣言により大会の幕は切って落され、競技は女子六〇メートルを皮切りに、男子一〇〇、四〇〇、一五〇〇メートルの競技が続く、特に全盲の六〇メートル競走などは目を見張らせるものがありました。

また、フィールドでは立巾跳、やり投げ、砲丸投げなどの熱戦が繰り広げられ、身体の障害を克服して全力を尽す姿に観衆は感嘆の声をもらし、こうして午後四時すべての競技を終了。黒崎町からは約二十五人が各種目に出場し次の方が上位入賞を果たしました。

走り巾跳び 一位 佐藤 等(八区)

やり正確投げ 一位